



梅雨も明け、ますます暑くなってきましたが、皆様お変わりございませんか。
今月もおおみや教会通信をお届けできることは大きな恵みと感謝しております。

<信徒委員会からのお知らせ>

・今後のミサについて

新型コロナウイルス感染症対策として引き続き現在の3グループによるローテーションを継続します。

8月15日聖母被昇天のミサは、午前(A+Cグループ)と午後(B+Cグループ)の2回行われます。Cグループは午前と午後、地区によって二つに分かれますのでご注意ください。

月	日	曜日		開始時間	グループ
7月	18日	(日)	年間第16主日	午前10:00～	C
	25日	(日)	年間第17主日	午前10:00～	A
8月	1日	(日)	年間第18主日	午前10:00～	B
	8日	(日)	年間第19主日	午前10:00～	C
	15日	(日)	聖母の被昇天	午前10:00～	A+岩槻・蓮田・白岡
	〃	〃	〃	午後2:00～	B+伊奈・原市・久喜

※ご自分がどのグループに属するか、今一度ご確認ください。
8/15以降のミサ日程については後日連絡網等でお知らせいたします。



Aグループ	大宮区・西区・中央区・桜区
Bグループ	見沼区・北区
Cグループ	岩槻区・伊奈・原市・白岡・蓮田・久喜

・感謝の集いについて（地区部より）

例年9月に開催していましたが、昨年同様コロナ禍の為、集いは中止し、対象の方々にはメッセージカードを郵送させていただきます。

・司祭館の裏の塀のひび割れについて（営繕部より）

パウロの家の建て替え時期に合わせて、塀も作り直す予定ですが、それまでの間に万が一倒壊すると危険ですので、近寄らないようにご注意ください。現地にはロープを張って注意喚起しています。

・「教会維持費」の名称について

2022 年度より、名称を教区会計に合わせ、「**教会費**」に変更することになりました。変更するのは名称のみで、意味合いは変わりません。

・オンラインによるカテキズム勉強会について（成人養成部より）

7/4(日)に Zoom（ズーム）を用いてカテキズムの勉強会の第1回目を行いました。

第2回目を8/8(日)13:30～15:00に予定しています。2回目からの参加も可能です。ご希望の方は以下のメールアドレスにメールをお送り下さい。招待メールを返信いたします。（メールには必ずお名前を明記して下さい）申し込み締め切りは8/1(日)です。

tomo-i@tbb.t-com.ne.jp

※お詫びと訂正（広報部より）

6月号掲載の「**じっちゃんの信仰**」（北区 大澤さん）の文中の「伝道師」は正しくは「伝道士」でした。「師」は叙階された司祭などに用い、一般信徒には「士」を用いるとのことでした。

お詫びして改めさせていただきます。（ホームページは訂正済みです）



サモア～主に呼ばれて (1)

私がサモアに行くことになったそもそものきっかけは、神言会のマイケル・シーゲル神父様が浦和教会に、カトリック信徒宣教者会（現・JLMM）の宣伝にいらっしゃったからです。その日のミサに行かなかったらと思うと、人生どう変わるか分かりません。

シーゲル神父様は吉祥寺教会の主任司祭だった時に、吉祥寺教会の青年たちが発展途上国と言われる国で働きたいという気持ちを受け止め、カトリック信徒宣教者会を立ち上げたと聞きました。その当時はすでに青年海外協力隊と言う、政府が主導して作られた組織もありましたが、カトリックの精神をもちながらボランティアしたい人たちがいたそうです。

その日のミサで、派遣された方々の話を聞いて、その会に興味を持ちました。そしてその年（1987年）の12月に信徒宣教者会のクリスマス会に参加しました。そのクリスマス会に参加して、さらに興味がわいてきました。

しかし、当時は埼玉県の養護学校の教員として正規採用されていたので、もし派遣されるとなると退職しなければならないという状況でした。退職して、海外に行ったとして、帰国してからの生活は大丈夫だろうか、大問題です。なかなか決心がつかないまま、日々の生活を続けていました。

転機は、サモアから帰国した派遣者から話を聞く機会があったことです。

看護師として派遣された近藤（ドイル）修子さん、教員として派遣された長嶋美詠子さん、高橋ユリさんです。

特に、長嶋さんはかなりのチャレンジャーで、ボランティアは普通だったら、ボランティア用の宿舎に住むのですが、サモア人の家に居候させてもらっていたという経験の持ち主。ですので、彼女の体験からは「良かった」「楽しかった」というような話がたくさん出てきます。

何となく養護学校の教員を続けていた自分も、劇的な変身（内面の）ができるのではないかと感じてしまいました。それからは、自分の心にブレーキをかけていたことを少しずつ否定し始めました。（つづく）

見沼区 齊藤

♪ オルガニストのつぶやき ♪ ～ いっしょに弾きませんか～

「ミサでオルガンが弾けたらいいなあ」と子どもの頃からの望みでありましたが、いざ、その機会を得ますと、うれしい気持ち・勉強不足・力不足でいつも自信のない私がありました。そんな時に聖歌隊指導の故伊藤正太郎先生は、「若いのだから典礼音楽の勉強をもっとした方がいいよ」とよく声をかけてくださいました。

そんな私に神さまは“聖グレゴリオの家 教会音楽科”入学の道を準備して下さっていました。本科3年を経て専攻科2年修了。教会音楽家資格も得ることができたのです。

朝の祈りから一日が始まり、全てのレッスン終了は午後7時過ぎ。

素晴らしい先生方との出会い、魅力的なレッスン……

感謝と感激でいっぱい学びの時間でした。



“✠ 今後は大宮教会でこの資格が活かれますように”

それが、聖グレゴリオの家創設者 フランシスコ会 故ゲレオン・ゴールドマン神父様の第一目的だからです。

オルガンを通して、神さまを讃え、喜びをもって奉仕して下さる方をお待ちしています。
お気持ちのある方、お声がけください。

オルガニスト 高野 裕美

【広報部員を募集します】

広報部は「おおみや教会通信」を月に一度編集・発行しています。（コロナ禍以前は「教会だより」と「たかはな」を発行）現在活動する部員は3名で、負担が大きくなっています。文章力等、特別な能力は必要としません。一緒に活動して下さる方を募集します。

（ご興味のある方は梶田（080-4653-2316）までお問合せ下さい。）

* 投稿を募集しております。FAX か郵送で受け付けております。

〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町2丁目350

カトリック大宮教会 広報部 宛